国民のくらしをあたためる政治へ

広がる日本共産党への期待　演説会に会場いっぱい

日本共産党の井上哲士参議院議員・党参議院国対委員長をむかえた演説会が４月２６日、藤岡市のみかぼみらい館で開かれ、会場いっぱいの１１５０人が参加しました。

井上参議院議員は、「戦後最大の経済危機のなか、政治がどう立ち向かうかが問われている」として、景気の悪化に対して政府は、巨大開発、贈与税の減税など大企業・大資産家には大盤振る舞いの一方で、国民には選挙目当ての一年限りのばらまきが並べられ、「入り口は、大企業へのばらまき、出口は、国民への大増税。国民のくらしをあたためる政治に切りかえることが必要」と訴えました。

演説会では、塩川てつや衆議院議員なども決意を語りました。

議員の定数が減れば市民の声が市政にとどかなくなるのでは？

４月に開かれた、議会運営委員会で、議員定数について論議され、現在の議員定数を２７から２２へと減らすことが、賛成多数で合意されました。

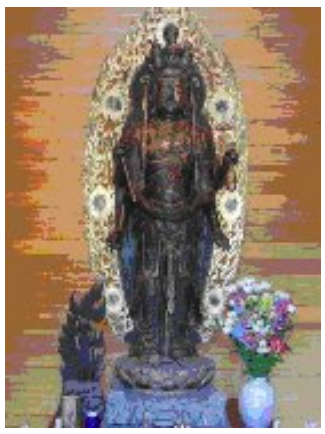
財政問題や地域要望、安心してくらせるまちづくりなど課題が山積している時、議会が、しっかりと市民の声を市政に反映させなくてはなりません。

議員の定数削減は、市政のチェックや市民の声が市政に反映されづらくなるのではないでしょうか。

真田の時代がよみがえる

ゆかりの観音様　ご開帳

４月２９日、真田氏にゆかりのある三光院の十一面観音像（柳町）、歓楽院の千手観音菩薩座像（柳町）、正覚寺の百体観音（鍛冶町）のご開帳があり、多くの参拝者が訪れていました。



三光院の十一面観音像

これらのお寺は、それぞれ真田氏とのゆかりがあります。

今年は、ＪＲの企画で沼田市を訪れた人たちも、それぞれのお寺をまわり、真田氏ゆかりの観音様を見て回ったり、本町通でおこなわれていた「柳波まつり」を楽しんでいました。

こんにちは　大東のぶゆきです

こんにちは。麻生内閣は四月二十七日、新たな「経済対策」にともなう補正予算案を閣議決定し、国会に提出しました。総額十三兆九千二百五十六億円。当初予算の予備費取り崩しなどを含め、追加経済対策の財政支出総額は、十五兆四千億円にのぼります。

「低炭素革命」として、「エコカー」への買い替え促進や「省エネ家電」の販売促進など、自動車・電機業界が求めていた施策に一兆五千七百十五億円、三大都市圏環状道路の整備やスーパー中枢湾港の機能強化、羽田空港の拡大、整備新幹線の整備などの公共事業費に二兆三千四百六十八億円など、大企業へのばらまきが目白押しです。

経済対策というなら、政府がやるべきことは、「派遣切り」や正社員の「リストラ」をやめさせ、「内部留保」を使って、雇用を守らせることや、介護・医療・年金など社会保障の充実をすすめ、国民の懐を暖めることが必要で、「入り口は大企業へのばらまき、出口は消費税の増税」では、景気はますます冷え込むだけです。

ぶらり散歩 ぬまた道 沼田地区　その十一　榛名神社

面美様

沼田氏十二代沼田万鬼斎顕泰は、享禄三年（１５３０）に倉内城を築くにあたって、現在の沼田公園の平八郎石あたりに祀ってあった倭建命（やまとたけるのみこと）を、菅原道真を祀る薄根大明神（現在の榛名神社）にうつし、榛名山より埴山姫命（はにやまひめのみこと）をむかえ、三神を一社に祀り、榛名満行大権現と名のり、根岸村とよばれていた地域を榛名村とよぶようになったと伝えられています。

本殿裏には、「面美様」（めめよしさま）とよばれる珍しい線彫りの石があり、「面美様」をなでた手で、自分の顔をこすると美人になると言われ、多くの人になでられてきました。

本殿

無料　生活法律相談のお知らせ

弁護士が遺産相続、交通事故、サラ金の相談におこたえします。

日時　５月１３日・２７日　午後１時から

場所　日本共産党利根沼田地区委員会事務所

沼田市下久屋町９８３　ＴＥＬ２３－１５１９

※相談を希望される方は、前日までにご連絡ください。

２００９年５月３日　NO,１７１

日本共産党　大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所　沼田市下久屋町９８３　TEL２３－１５１９　部内資料